



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



研修医日記

作成者：木下 裕貴（2年次）

梅雨も明け、この下北半島にも短い夏が訪れようとしています。早いもので2年目に入りました研修も3ヶ月が終わりました。小児科研修では、苦手意識のあった小児診察を学ぶと同時に自分の同級生がパパやママになっている姿を見て、毎日喜びや楽しみを覚えながら仕事をすることができました。

弘前大学医学部の6年生の地域実習の方も3クール目が終了しました。当院では実習期間の最後に6年生に実習についてのまとめの発表をしてもらっています。実習の内容や印象に残ったこと、また自分の生い立ちなど自由にテーマを決めてスライドを発表します。この取り組みを始めて4年目になりますが、年々笑いやデザインのレベルが上がり近年ではスライドをつくるために発表前日には徹夜で作成する学生もいるとか…。大人数の前で自分が決めたテーマで発表するのは大学生活の中ではないことでしょうか、聞いている人の関心をいかにして惹きつけるかを学ぶ良い機会となっています。

夏といえばおしまこ流し踊り、田名部神社例大祭、そして6年生の就職試験である**マツチング試験**があります。むつ総合病院に実習にいらした方もそうでない方もぜひ観光も兼ねて受験しにきませんか。ぜひお待ちしております!!



学生さんがきてくれる4月～7月は本当に賑やかです。
写真は学生さんの実習総括スライドの発表風景です。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。